

令和8年度

RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種のご案内

令和8年4月1日から、RSウイルス母子免疫ワクチンが定期接種の対象となりました。
札幌市では、以下の方を対象にRSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種を実施しています。

対象者と接種期間

接種時点で、妊娠28週0日から36週6日までの方。

接種料金

接種料金：無料

接種回数

接種回数（接種方法）：妊娠毎に1回（筋肉内に接種）

※ 過去の妊娠時に組換えRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）を接種したことがある方も対象です。

接種場所

接種場所については、まずはかかりつけの産婦人科にて接種できるか事前にお問い合わせください。

その他の「実施医療機関」については、札幌市コールセンター（011-222-4894）にてご案内しているほか、札幌市の公式ホームページでもご確認いただけます。
なお、医療機関によっては、予約が必要な場合などもありますので、事前にお問い合わせいただくようお願いいたします。

また、里帰り出産等により市外での接種を受ける場合には接種費用の助成を実施しています。詳細については各区保健センター（4ページに記載）にお問い合わせください。



実施医療機関名簿

持ち物

- ・マイナンバーカード、運転免許証等の年齢・住所を確認できる書類
- ・母子健康手帳
- ・予診票

※ 予診票は医療機関にもご用意しております。

1 RSウイルス感染症とは

RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。感染すると、2～8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。2010年代には、生後24か月未満の乳幼児における年間のRSウイルス感染症発生数は12万人～18万人であり、3万人～5万人が入院を要したとされています。また、入院例の7%が何らかの人工換気を必要としたとする報告もあります。

RSウイルスの流行には季節性があり、新型コロナウイルスの流行以前は秋冬に流行が見られましたが、近年は夏に流行がみられています。接触・飛沫感染により伝播するため、手洗いや手指衛生といった基本的な感染対策が有効です。治療は症状に応じた治療（対症療法）が中心で、重症化した場合には酸素投与、点滴、呼吸管理などを行います。

2 母子免疫ワクチンの予防効果などについて

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種を受けると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンとして組換えRSウイルスワクチン（ファイザー社のアブリスボ®）があります。なお、組換えRSウイルスワクチンのうち、アレックスビー®（グラクソ・スミスクライン社）は母子免疫ワクチンとして用いることはできません。

※ 接種後14日以内の出産では、抗体の移行が十分でない場合があります。特に39週までに出産予定の方は、その14日前までに完了するようご注意ください。

		生後90日以内	生後180日以内
母子免疫 ワクチン の効果	RSウイルス感染による 医療受診を必要とした 下気道感染症の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
	RSウイルス感染による 医療受診を必要とした 重症下気道感染症（※）の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

※ 医療機関への受診を要するRSウイルス関連気道感染症を有するRSウイルス検査陽性の乳児で、多呼吸・SpO₂ 93%未満・高流量鼻カニューラまたは人工呼吸器の装着・4時間を超えるICUへの収容・無反応・意識不明のいずれかに該当と定義しています。

3 予防接種を受ける前に

(1) 一般的な注意

予防接種についてわからないことは、接種前に医師や看護師、各区保健センター（4ページ目参照）にお尋ねください。予診票は、予防接種の可否を決める大切な情報ですので、接種を受ける方が責任をもって記入してください。

(2) 他のワクチンとの接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください。

(3) 予防接種を受けることができない方

- 37.5℃以上の熱がある方
- 重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- 組換えワクチン(アブリスボ®)の成分によってアナフィラキシーなど重度の過敏症の既往歴のある方
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適當な状態にある方

(4) 予防接種を受ける前に、担当医師とよく相談しなくてはならない方

- 過去に免疫不全と診断されている方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患のある方
- 過去に予防接種を受けて2日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- 過去にけいれんを起こしたことがある方
- 組換えRSウイルスワクチン(アブリスボ®)の成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある方
- 接種によって妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告もあるため、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方
- 筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方

(5) 予防接種を受けた後の注意

- ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。
- 体調に異変を感じた場合は、速やかに医師へ連絡してください。
- 注射した部分は清潔に保つようにしてください。
- 接種当日の入浴は問題ありません。
- 当日の激しい運動は控えるようにしてください。

4 ワクチンの副反応

ワクチン接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシーがみられることがあります。接種後、これらの症状が強く現れた場合は、速やかに医療機関を受診して下さい。

また、ワクチン接種による妊娠高血圧症候群の発症リスクに関して、薬事承認において用いられた臨床試験では、妊娠高血圧症候群の発症リスクは増加しませんでした。海外における一部の報告では、妊娠高血圧症候群の発症リスクが増加したという報告もあるものの、交絡因子等の影響の可能性があることから解釈に注意が必要であるとされています。

接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
10%以上	疼痛*(40.6%)、頭痛(31.0%)、筋肉痛(26.5%)
10%未満	紅潮*、腫脹*
頻度不明	発疹、蕁麻疹

*ワクチンを接種した部位の症状 添付文書より厚労省にて作成

5 予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害（病気になったり障がいが残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすることはできないことから、救済制度が設けられています。

RSウイルスワクチンの接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になる場合や、生活に支障が出るような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく補償を受けることができます。接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。

申請に必要な手続き等については、札幌市保健所感染症総合対策課(211-8189)までご相談ください。

6 市外医療機関での予防接種費用助成について

下記のとおり里帰り出産等により市外で接種した子どもの予防接種（定期予防接種A類）の費用助成を実施しています。

対象者：札幌市に住民票があり、下記のいずれかの理由により、市外の医療機関で接種した方

- ・ 出産に伴う里帰り
- ・ 被接種者または保護者等の長期療養
- ・ DVによる緊急避難等による家庭の事情

助成対象となる費用：札幌市が実施医療機関と契約している金額を上限とする。

申請期限：予防接種を受けた日から1年以内

※ 予防接種費用助成（払い戻し）の申請を行うには、原則として事前に予防接種依頼書の交付を受けることが必要となります。詳細については各区保健センターにお問い合わせください。

お問い合わせ

●実施医療機関や一般的な注意事項は札幌市コールセンターでご案内しています。

札幌市コールセンター 222-4849 〈年中無休 8:00～21:00〉

●ワクチン接種に関するご相談・ご質問について詳しくお聞きになりたい場合、医療機関や各区保健センターにお問い合わせください。

各区保健センター（健康・子ども課）〈月～金（祝日を除く）8:45～17:15〉

中央区 ☎205-3351 北区 ☎757-1185 東区 ☎711-3211 白石区 ☎862-1881 厚別区 ☎895-1881
豊平区 ☎822-2469 清田区 ☎889-2047 南区 ☎581-5211 西区 ☎621-4241 手稲区 ☎681-1211

●ワクチンの詳細や予防接種実施機関等は、札幌市保健所ホームページでもご案内しています。

「札幌市 RSウイルス ワクチン」で検索
URL:<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f1kansen/rsvaccine.html>

